

臨床内分泌・代謝学

科目到達目標: 内分泌疾病ならびに生活習慣病を対象とした代謝学の病態、診断、治療(予防を含む)を説明できる。

科目責任者(所属教室): 大倉 毅(第一内科診療科群)

連絡先: 第一内科医局内線6517

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/31(水)	3	323	甲状腺(I)	伊澤 正一郎	第一内科診療科群	甲状腺機能異常の原因、病態、診断、治療および甲状腺腫瘍の病態、診断を説明できる。	甲状腺中毒症、甲状腺機能低下症、甲状腺癌、Plummer病、薬剤性甲状腺機能異常、SITSH
2	11/7(水)	3	323	内分泌外科(I)	石黒 清介	乳腺内分泌外科(非常勤講師)	甲状腺、副甲状腺疾患の外科治療について説明できる。	バセドウ病、甲状腺腫瘍、原発性副甲状腺機能亢進症、副腎皮質腺腫・癌、褐色細胞腫
3	11/14(水)	3	323	糖代謝異常(I)	谷口 晋一	地域医療学	糖代謝機構と糖尿病の病態を理解できる。	糖代謝異常、ケトアシドーシス
4	11/21(水)	3	323	下垂体(I)	大倉 裕子	病態情報内科学(非常勤講師)	下垂体腺腫による疾患を理解し説明できる。	先端肥大症、クッシング病、プロラクチノーマ、TSH産生腺腫、非機能性腺腫
5	11/28(水)	3	323	副甲状腺、Ca代謝異常	松澤 和彦	第一内科診療科群	副甲状腺疾患・Ca代謝異常について概説できる。	Ca・P代謝、特発性・偽性副甲状腺機能低下症、原発性副甲状腺機能亢進症
6	12/5(水)	3	323	糖代謝異常(II)	大倉 毅	第一内科診療科群	糖尿病の診断と慢性合併症を理解できる。	1型・2型糖尿病、糖尿病性末梢神経障害・網膜症・腎症、動脈硬化症
7	12/12(水)	3	323	糖代謝異常(III)	大倉 毅	第一内科診療科群	糖尿病の病態、急性合併症について説明できる。	糖尿病の成因分類、インスリン分泌不全・抵抗性、糖尿病性昏睡、低血糖
8	12/12(水)	4	323	脂質代謝異常	谷口 晋一	地域医療学	脂質代謝機構と脂質異常の病態・治療を理解できる。	脂質(コレステロール・脂肪酸)代謝、脂質異常症の分類、スタチン系・フィブラート系薬
9	12/21(金)	3	323	視床下部・低身長	花木 啓一	母性・小児家族看護学	視床下部・下垂体疾患・低身長を理解し説明できる。	視床下部・下垂体、間脳下垂体腫瘍、低身長
10	12/19(水)	4	323	副腎疾患	伊澤 正一郎	第一内科診療科群	副腎疾患について説明できる。	副腎腫瘍(クッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、副腎偶発腫、副腎皮質癌)、副腎機能低下症
11	12/26(水)	3	323	下垂体(II)	大倉 裕子	病態情報内科学(非常勤講師)	下垂体疾患を理解し説明できる。	下垂体機能低下症、尿崩症、SIADH
12	12/26(水)	4	323	糖代謝異常(IV)	大倉 毅	第一内科診療科群	糖尿病治療概論と食事・運動療法、経口糖尿病薬について理解できる。	食事・運動療法、経口糖尿病薬
13	1/9(水)	3	323	糖代謝異常(V)	大倉 毅	第一内科診療科群	インスリン治療について理解する。	インスリン製剤
14	1/9(水)	4	323	甲状腺(II)	松澤 和彦	第一内科診療科群	バセドウ病と慢性甲状腺炎(橋本病)の病態、診断、治療およびその鑑別疾患を説明できる。	バセドウ病、慢性甲状腺炎(橋本病)、バセドウ病眼症、甲状腺クリーゼ、粘液水腫性昏睡
15	1/16(水)	4	323	最近の内分泌代謝学の動向	大倉 毅	第一内科診療科群	最近の内分泌代謝学の動向について理解する。	先端医療

教育グランドデザインとの関連: 2,3,6

学位授与の方針と関連: 1,2

授業レベル: 2

評価: 定期試験 100%

教科書: 内科学(朝倉)、糖尿病治療ガイド、内分泌代謝専門医ガイドブック、病気がみえる